

りゅうの時間

金中生が「音」で紡ぐ
100年への想い

町制施行100周年記念式典で、記念映像「金山の道、百年の光。」を公開し、あわせて記念映像の主題歌として、記念楽曲「りゅう」が公開されました。

金山のくらしに溢れる「金山の音」や目を閉じれば聞こえる懐かしい声。そうしたふるさとの音や声、記憶が、101周年目の新たな時代の一步を踏み出す力になってほしい。そんな想いを出発点に、金山中学校の生徒を主体とした楽曲・映像制作の取り組みが始まりました。

本作「りゅうの時間」では、生徒たちが町民や講師、アーティストなど多くの人と出会いを通じ、言葉や魅力、耳を澄ませる中で、町の歴史や魅力への理解を深め「自分たちの金山」を表現していく姿が描かれています。

授業は全3回。金山中学校3年生の生徒が中心となり、「町の音」をテーマに、歌詞の読み解き、フィールドレコーディング、そして楽曲制作に取り組みました。金山町を思い、合唱祭という舞台に向けて積み重ねてきた生徒たちの成長の証をぜひご覧ください。

授業 1

100周年記念楽曲「りゅう」の歌詞をもとに、金山町の「音」に着目して、まちの魅力を探る授業を実施しました。



6月10日(火) 中学3年生対象

授業 2

町内各所を巡り150個以上の「金山の音」を集めました。



7月23日(水) 中学3年生対象

授業 3

前回の授業で集めた「金山の音」を使い楽曲制作に挑戦しました。楽曲の制作を通じて自分らしい金山を表現しました。



8月28日(木) 中学3年生対象

合唱祭

「りゅう～百年先の金山へ～」をスローガンに掲げ、金山中学校で合唱祭が開催されました。学年ごとの合唱発表のほか、100周年記念楽曲「りゅう」の全校合唱が行われ、金山町がこれまで歩んだ歴史と、これからの金山町の未来への想いをのせ、歌声を響かせました。



10月25日(土) 全校生徒対象

100周年記念スピノフ映像

「りゅうの時間」

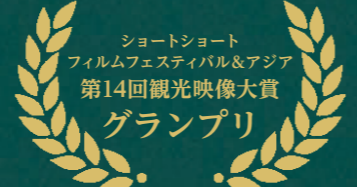
3/8(日) 公開

上映会開催決定



映像は「りゅう」

スピノフ映像「りゅうの時間」の制作のきっかけとなった、町制施行100周年記念映像「金山の道、百年の光。」は国内に限らず、国際的な短編映画祭で高い評価を受けました。



町の魅力を「音」から探り
町の歴史や伝統に触れる



生徒代表
しばた こはる
柴田 心春 さん

この映像のみどころは、「音」です。実際に町内のいろいろな場所へ行き、「町の音」を集めました。撮影を通して、町の歴史や伝統に触れ、貴重な体験ができました。「りゅうの時間」は100周年記念映像やアニメーションとは違う角度で町の魅力を知ることができる作品です。ぜひご覧ください。

子どもたちの輝く日常と
「りゅう」を創りあげる特別な体験



金山中学校
あじき しゅういち
安食 秀一 校長

合唱曲「りゅう」を創りあげていく過程は、金中生にとって確かに「特別な体験」でした。この「りゅうの時間」の映像は、子どもたちがこんなにも「日常」を美しく過ごしていたのだと気付かせてくれるものでした。子どもたちの輝く日常を、美しい金山の風景と共にご覧ください。

一人一人が輝く主人公
それぞれの思いをのせて



監督
すざうら ほなみ
杉浦 穂奈実 さん

「金山の道、百年の光。」では「紘美」という中学生が主人公でしたが、今回は金山町の本当の中学生一人一人が主人公となって輝いてくれました。町の風景から生まれた「りゅう」という曲にそれぞれの思いが重なり、巡っていく、そんな素敵な時間が映像の中に流れていると思います。

ふるさとへの愛
生徒の成長の歩みを描く



町教育委員会
すずき ひでし
鈴木 英樹 教育長

言葉を紡ぎ、金山の音に心を躍らせ、今まで見えなかった街をそれぞれが見つけ出した特別授業。「りゅう」は、金山を吹き抜ける清々しい風になり、ふるさとへの愛が膨らんだ生徒の成長の過程をぜひご覧ください。